

～難病被災者支援の手引き～

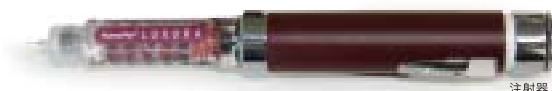
1型糖尿病 [IDDM]編

神戸市提供(阪神・淡路大震災)

○まず知ってほしいこと○

災害時はみんな大変な思いをしますが、病気や障害を持った方の心細さは健常な方とは比較にならないほど大きいものです。パニックになって必要な情報を正確に伝えることができなくなり、大声を出したり詰め寄ったりするかもしれません。

でも、そんな態度は『心の底から発しているSOSの裏返し』なのです。



注射器



注射器使用例

Q. 1型糖尿病(IDDM)とは？

A. 毎日数回のインスリン注射を生涯にわたって必要とする病気です。

- ✓ 糖尿病という名前は一緒ですが、発症過程も治療に関する考え方も2型糖尿病(生活習慣病)とは異なります。
- ✓ 年間発症確率は10万人あたり1～2人で、小児期発症が多いことから「小児糖尿病」と言われることもあります。
- ✓ 1型糖尿病(IDDM)患者は、インスリンさえ注射していれば、**一見、病気のように見えません**(災害時要援護者に見えませんが)、**インスリンという薬を注射しないと数日で生命が危険になる病気**です。
- ✓ 注射は幼児を除けば患者自身が行います。自分で注射をするのを見ると驚かれるかも知れませんが、1型糖尿病(IDDM)患者では普通のことなのです。
- ✓ インスリンによる副作用(効きすぎ)で**血糖が低下して発作**(ひどい場合は**昏睡**)を起こすことがあります。
- ✓ また、一般的な**食事を規則的にとる**ことが体調管理に重要です。



注射器使用例



血糖測定器

(数値が60～70以下であれば、低血糖)

インスリンポンプ使用例



発行 特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

この手引きは、NPOからの協働事業提案により、災害時の難病患者支援プロジェクト(三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会、災害ボランティアネットワーク鈴鹿、日本IDDMネットワーク)が三重県と協働で作成しました。